

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年3月31日

事業所名 みらいさぼーとmoana2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		1	個別活動や集団活動など活動内容によって部屋を分けています。	
	2 職員の配置数は適切である	8	1		基準以上の人員を配置し保育士や作業療法士等、有資格者も配置しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		2		十分なバリアフリーとはいえませんが介助が必要な場合は2名以上のスタッフで介助が行えるようにしています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	4	1	ミーティング時にPDCAサイクルを活用して職員間で計画からモニタリングまでの情報を共有しています。パート職員へは後日、共有しています。	パート職員が参加できるよう時間の調整を検討していきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	3	2	アンケートとは別に保護者の意向を把握できるようにHUGや送迎時などで保護者とコミュニケーションをとっています。	保護者の意向やご意見を職員で話しあい業務改善を行っていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	3	3	ホームページにて公開しています。	全職員へホームページにて公開している旨を周知いたします。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4	2		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		1	外部講師を招いて研修を行いました。	研修で学んだことを職員で共有し統一した支援ができるよう努めます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		1	相談専門員と連携しています。また事前に保護者よりニーズや課題の聞き取りを行っています。	より適切にアセスメントが取れるようデイサービスやご自宅以外での様子や学校生活など幅広く情報が得られるよう関係機関と連携していきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	2	アセスメントツールを使用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1		チーム全体で話し合い立案しています。また外部講師や作業療法士等の助言も参考にしています。	子ども達が楽しんで参加し成長できるように活動プログラムを支援に生かします。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1		季節のプログラムや運動、コグトレ、SST、手指訓練等の色々なプログラムがあります。	定期的に年間プログラム内容の見直しをしていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	4		平日や学休日など、課題を分けて活動を行っています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2	2	個別活動と集団活動のニーズを把握し、組み合わせで作成しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			業務開始時のミーティングで注意事項や申し送り、活動内容の確認をしています。個別で支援が必要な児童の担当職員を明確にすることで集団活動がスムーズに行えています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2		終業前にその日の振り返りを行い、児童の特長事項や活動内容の反省点や気づいたことを話合っています。	引き続き、送迎等で当日の振り返りが難しい時は翌日に報告を行います。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	2		HUGシステムを活用し日々支援内容を記録しています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8		1	定期的にモニタリングを行っています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	1	1	ガイドラインの基本活動内容にそって支援を行っています。	全職員へガイドラインの総則の基本活動内容を周知します。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6	1	2	児童発達支援管 理責任者が参加 しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	7		2	毎月、定期的に 学校へ事業所の 予定表を配布し 情報を共有して います	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	2	6	1	現在、該当する 児童はいませ ん。	医療的ケアが必要な児童をうけ入れる場合 は主治医等と連絡体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	8	1		関係機関と連携 し情報共有して います。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している		7	2	現在、該当する 児童はいませ ん。	必要に応じて連携事業所との情報共有を行 います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	4	3	2	専門機関との連 携は欠かさず 行っています。	研修参加の頻度を増やしていきたいです。 また多くの職員が参加できるように検討しま す。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	1		8		コロナ禍のため予定を立てる事が出来ませ んでした。状況が落ち着いたら地域との交流 を計画していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		2	7		開催時は積極的に参加させていただきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	9			送迎時の申し送りや電話、 メール、HUG等のツールを 活用して日頃から保護者と 情報共有や共通理解に努 めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている		3	6		コロナ禍のため予定を立てる事が出来ませ んでした。状況が落ち着いたらペアレント・トレ ーニングや親子参加のイベントを検討します。
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	8		1	契約時に丁寧な説明を 行っています。また契約 内容が変更されるたび に再度説明を行ってい ます	今後も丁寧な説明に努めます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	8	1		送迎やモニタリング 会議など、その都度、 話しを伺い助言と支 援を行っています。	今後も保護者が相談しやすいよう関係を築 いていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している			9		コロナ禍のため予定を立てることが出来ま せんでした。状況が落ち着いたら保護者会 の開催を検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	9			契約時に苦情受付窓口の説明 を行っています。苦情ボックスを 設置し把握に努めています。苦 情があった場合は苦情解決責 任者(児童発達支援管理責任 者)にて対応しています。	今後も迅速にかつ適切に対応できるよう、体 制を整えていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	7	1	1	毎月の予定表を事前に配 布しています。HUGでも活 動概要や行事予定等を発 信しています。また個別 での連絡体制も整えてい ます	次年度より定期的に会報やおたよりを発行 していきます。
	35	個人情報に十分注意している	9			就業規則に定め、守秘義務を重 要に扱っています。個人情報書 類は鍵付きの棚で管理を徹底し ています。	今後も守秘義務を順守します。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	9			個人の特性に配 慮しています。	日々試行錯誤し、よりよい情報伝達が出来 るよう改善していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	2	4	3	コロナ禍のため実施して いません。年末のあいさつ周 りを児童と行い、地域住民と 交流をもちました。	コロナが落ち着いたら、地域交流の開催を 検討いたします。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	2		マニュアルを整備し事業所内へ掲示しています。	保護者への周知が不十分だったため周知を徹底していきます。またマニュアルを掲示するだけでなく定期的に読み合わせを行います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	3		年2回、消防署職員を招いて火災避難訓練を実施しています。	火災訓練だけでなく、今後は津波や不審者等の避難訓練も実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9			年2回、研修を実施しました。また虐待防止研修修了者に伝達研修も行いました。	虐待防止委員会を設置しています。今後も委員会を中心に研修の開催や意識の啓発に努めます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	5		運営規定や重要説明書に記載しています。契約時に保護者と読み合わせをして確認をしています。	放課後デイサービス計画に記載の検討をいたします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	2		アセスメント時に保護者と確認し対応しています。	医師の指示書が確認された場合は指示書に従います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			その都度ヒヤリハットを作成しミーティングにて報告、共有しています。	全職員へ周知できるよう定期的にヒヤリハット報告会を行います。